

鑑賞〔書簡〕

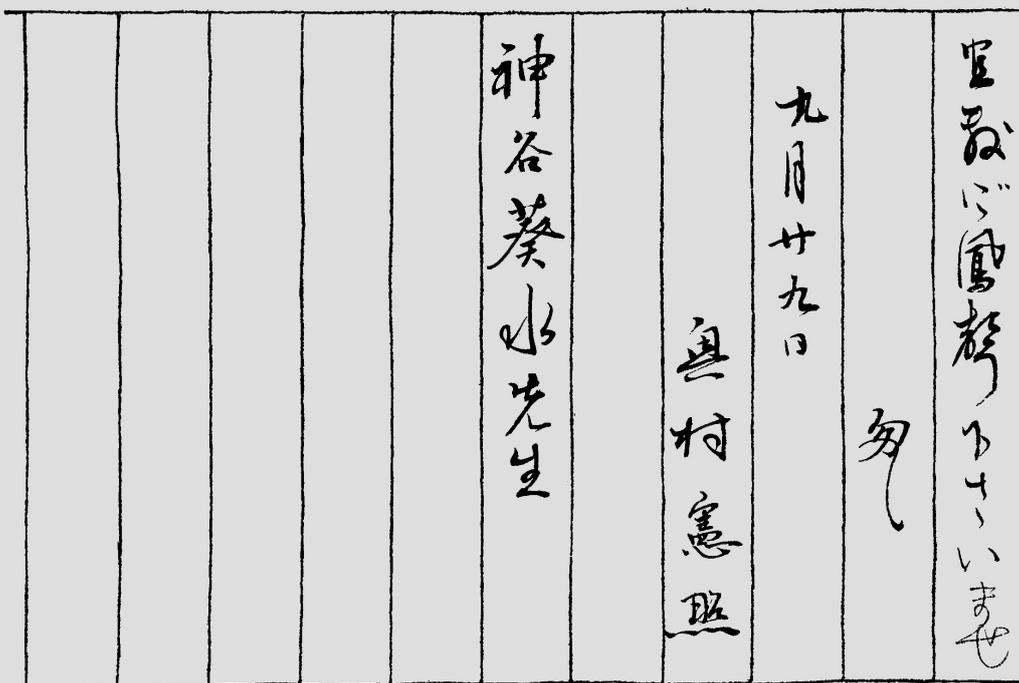
冠者

表  
中にも物象

この夜はご多忙の申を  
 ご多理申し上げま—た  
 とこゝろ早速にお聞き、  
 届けてさういふご揮毫  
 賜りお陰様で回おす十  
 ヲフのようになす派る。  
 多福塔の建立を見ま  
 した先祖も満足—と  
 うれし—と—守  
 衷心よりご厚礼申—た

ま

ついで—と—け  
 大変お縮でござい—が  
 感謝の印—に存子—  
 少回お—いた—ま  
 したご受納助—ま  
 甚にあ—ま  
 気候—の折—も  
 下—い—う—祈念申—  
 上げ—ま  
 末孝—ご令同様に



◆大書心会創設者、奥村憲照先生の毛筆書きによる書簡（草稿）を紹介いたします。

◆これは愛知教育大学名誉教授、神谷葵水先生宛の手紙で、奥村家の墓を建て直す際、五輪塔を神谷先生にご揮毫いただいた御礼の内容となっております。

◆草稿として本部に残っていたもので、所々に鉛筆等による加筆の箇所が見られますが、そのまま掲載しました。

◆中部地区を代表する大先生への手紙ということで、普段の手紙より緊張感があり、慎重に筆を運んだ様子が窺われます。

◆毎年八月号に憲照先生の書簡を掲載して参りましたので、もし保管しておられる方は見比べながらご鑑賞いただければと思います。

冠省 この度はご多忙の中をご無理申上げましたところ早速にお聞き届け下さいますことご揮毫賜り お陰様で同封スナップのような立派な五輪塔の建立を見ました先祖も満足してくれること存じます 衷心よりご厚礼申し上げます つきましてはぶしつけで大変恐縮でございますが感謝の印までに金子さ少同封させていただきます ご受納賜らば幸甚に存じます 気候不順の折ご自愛下さいますよう折念申し上げます 末筆乍らご令聞様に宜敷ご鳳声下さい

匆々

# 第28回 大書心会ペン字展出品要項

主催 書道教育 大書心会  
後援 岐阜県 土岐市 多治見市  
岐阜県教育委員会 土岐市教育委員会 中日新聞社  
(公財)岐阜県教育文化財団

◇公益財団法人岐阜県教育文化財団助成事業

一、会期 平成二十五年十月十一日(金)～十月十四日(月・祝)

午前九時～午後五時まで 入場無料

一、会場 セラトピア土岐 ☎0572(54)2120  
〒509-5121 土岐市土岐津町高山4番地

一、出品資格 高校生以上

一、出品区分 一科審査会員

二科審査会員(師範)

無鑑査(教範)

一科 (書範～準四段)

二科 (三段～準初段)

三科 (一級～新人)

特別出品 (前記を除く支局長・支部長。無審査とする)

○出品区分については、大書心誌九月号現在の規定・かなの段級のうち、上位の方を基準にして決定する。

○本会の硬筆部に出品していない場合は、所属団体での資格を明記の上、相当する区分に出品のこと。

一、用具 つけペン・万年筆・ボールペン・フェルトペン・竹ペン  
その他硬筆と認められるもの(筆ペンは除く)

一、作品寸法 一科審査会員・二科審査会員・特別出品・無鑑査  
一〇〇cm×一〇〇cm以内

一科・二科・三科  
六〇cm×七〇cm以内(縦横自由)

※いずれのサイズも作品の表装仕上がり(額)の寸法です。

※規定寸法を超えた作品は審査できません。ご注意ください。

一、作品内容 創作、臨書、実用書等自由

一、出品料 一科審査会員…五、〇〇〇円  
二科審査会員…四、〇〇〇円

特別出品…四、〇〇〇円 二科…二、五〇〇円

無鑑査…三、五〇〇円 三科…二、五〇〇円

一、出品申込 出品申込書に必要事項を記入の上、九月十八日(水)までに出品料を添えて本部事務局に申込むこと。

※出品申込書は、予め各支局・支部に送付する。個人会員は本部事務局まで請求のこと。

一、搬入 (A) 展覧会場へ直接搬入する場合(表装済作品)  
平成二十五年十月十日(木) 午前九時半～十時半

※可能な方は、直接搬入(時間厳守)にご協力下さい。

(B) 本部へ送付(持込み)する場合(表装済作品)  
平成二十五年十月四日(金) 必着

(C) 本部へ表装を依頼する場合  
平成二十五年九月十八日(水) までに表装依頼書を本部に請求の上申込むこと。

〒509-5134 岐阜県土岐市泉島田町一―三〇  
☎0572(55)0567 (FAX 同0558)

書道教育 大書心会

一、送り先

一、審査 平成二十五年十月十日(木) 午前十時半から  
会長、副会長、一科審査会員(本年度審査員を委嘱)

一、審査員 一科審査会員(三科について、各区分別に審査し、優秀作品に次の特別賞を授与するほか、出品者全員に賞状・賞品を授与する。

大賞・準大賞・会長賞※岐阜県知事賞※土岐市長賞※多治見市長賞※土岐市教育長賞※岐阜県教育委員会賞※名古屋

市教育委員会賞※土岐市議会議長賞※岐阜県教育文化財団理事長賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・入選 (※は申請中)

一、作品鑑賞会・授賞式・搬出 平成二十五年十月十四日(月・祝)

○ 作品鑑賞会 午後一時から

○ 授賞式 教育部 午後二時から 一般部 午後三時から

○ 搬出 午後四時から

※搬出不可能の方には、後日、返送料代引きにて送付する。

○ 一人何点出品してもよいが、入賞は一人一点とする。

○ 上位入賞者の昇段級については別に定める。

○ 級位の出品者には、一階級進級を認める。

一、その他

一、作品鑑賞会・授賞式・搬出

平成二十五年十月十四日(月・祝)

○ 作品鑑賞会 午後一時から

○ 授賞式 教育部 午後二時から 一般部 午後三時から

○ 搬出 午後四時から

※搬出不可能の方には、後日、返送料代引きにて送付する。

○ 一人何点出品してもよいが、入賞は一人一点とする。

○ 上位入賞者の昇段級については別に定める。

○ 級位の出品者には、一階級進級を認める。

一、その他

一、作品鑑賞会・授賞式・搬出

平成二十五年十月十四日(月・祝)

○ 作品鑑賞会 午後一時から

○ 授賞式 教育部 午後二時から 一般部 午後三時から

○ 搬出 午後四時から

※搬出不可能の方には、後日、返送料代引きにて送付する。

## 予告

来年のペン字展から  
最大寸法が変わります!!  
〜無鑑査以上七五cm×一〇〇cmに〜

### ◆作品寸法（無鑑査以上）変更の経緯について

最大寸法が現在の $100\text{cm} \times 100\text{cm}$ となったのは、平成七年の第十回展からです。本会創立四十周年の年です。それまでは全懐紙額を基準とした $60\text{cm} \times 70\text{cm}$ でしたが、創立記念を期に更なる発展とレベルアップをはかろうと拡大されました。それから会員、指導者一丸となつての取り組みのお陰で、内容、規模ともに「日本トップレベルのペン字展」と高い評価をいただけるようになりました。

しかしながら一方で、創立五十周年記念展を期に総出品数の大幅増、最大寸法作品の増加、選抜名古屋展のスタート等により、運営に関する負担も大きくなってまいりました。この行事を長く続けるためには、ボランティアで活躍して下さる実行委員の皆さんの負担の軽減や、スムーズな運営管理が不可欠であると思います。

そこで、現在のペン字展の作品レベルを保ちつつ、より運営のしやすい作品の大きさに変更させていただくことになりました。

今年三月の常任理事会でも協議しましたが、一年の猶予期間をもって、来年のペン字展から左のとおり実施の運びとなりました。

何卒ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

### 記

#### 一、作品寸法 一科審査会員・二科審査会員・特別出品・無鑑査

七五cm×一〇〇cm以内（縦横自由）

※一科〜三科は変更ありません。

【注】作品寸法は、あくまで「最大」であつて、この寸法丁度に合わせて作製する必要はありません。内輪であれば結構です。

◆既製額としては、書道額なら全紙三分の一、日本画額なら十五号が適当です。枠の太さによりばらつきがありますので、外枠の最大寸法をご確認の上ご利用下さい。

## 大書心会 ペン字展

## 選抜名古屋展

本会創立五十周年を記念して開催しました「選抜名古屋展」も、皆様のご好評をいただき、今回で九回目の開催の運びとなりました。中部地区最大の都市での開催ですので、全国の皆様に多数ご覧いただきたいと存じます。ご高覧の程よろしくお願い申し上げます。

会 期 平成二十六年一月七日（火）〜十二日（日）入場無料

午前九時半〜午後六時 ※最終日十二日は午後五時まで

会 場 名古屋市民ギャラリー栄（七F第三・四・五展示室）

名古屋市中区栄四一―八（中区役所朝日生命共同ビル）

☎052（265）0461

展示作品 一科審査会員全作品・二科審査会員選抜作品・無鑑査〜三科の全入賞作品を展示します。

搬 入 平成二十六年一月六日（月）午後一時から

※セラトピア土岐での本展の後、右該当作品を本部で預かり、まとめて搬入します。

※飾付け・当番等の運営に関しては、実行委員を組織しますので、ご出品の方々にはご協力の程お願い申し上げます。

出品料 一科審査会員〜無鑑査 一、〇〇〇円

一科〜三科 一、〇〇〇円

※選抜名古屋展の出品者確定後、

直接ご本人に振込用紙をお送り

しますので、ご協力の程よろしく

お願いいたします。

搬 出 平成二十六年一月十二日（日）

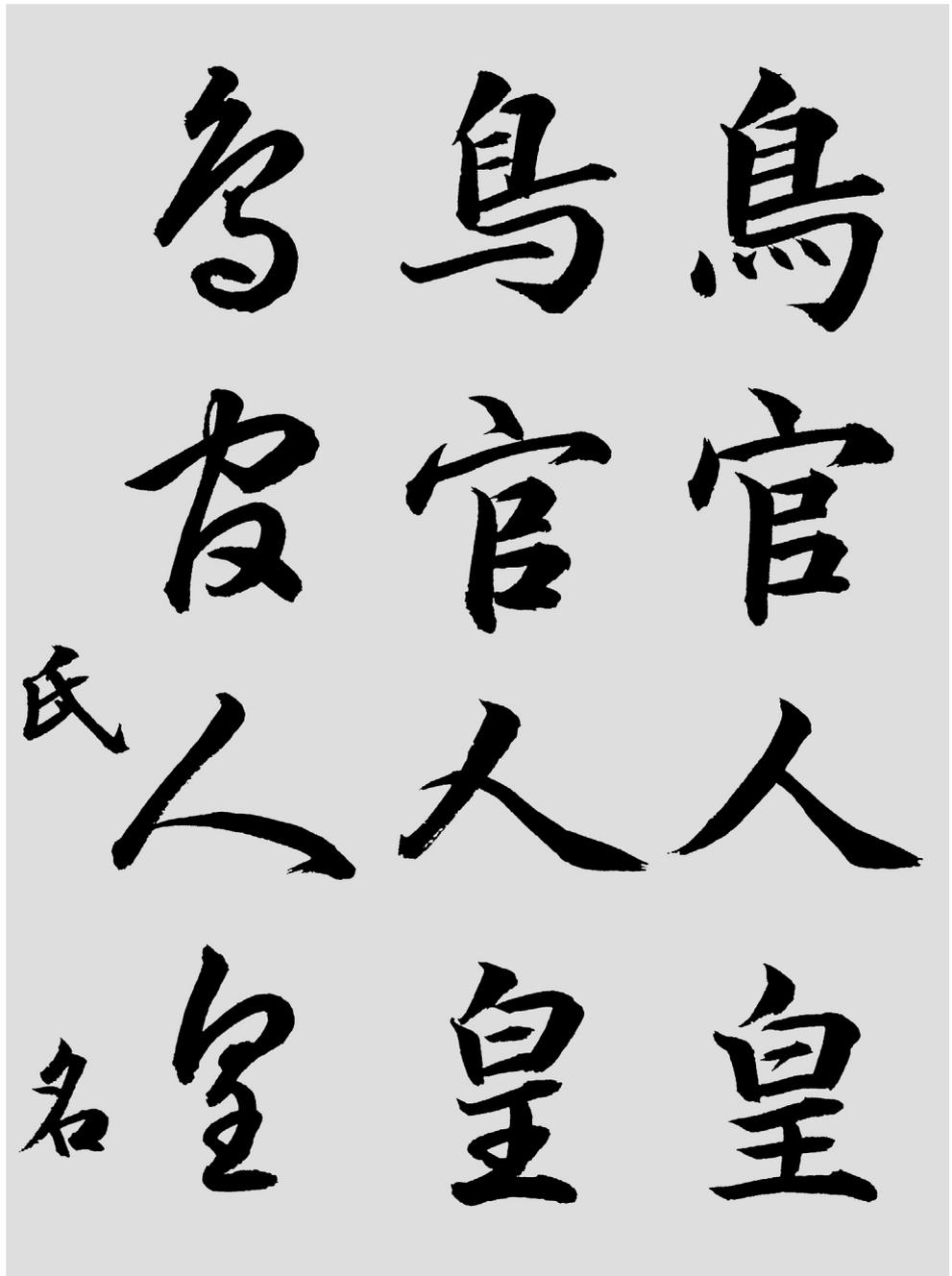
午後五時

その他 作品返却の送料（手数料含む）は、各自ご負担願います。



三体千字文を書く(20)

締切り 八月二十四日(必着)



奥村憲照先生書

□作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八一)年四月のことです。

◆「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穩健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へとつながりました。

◆原点に戻って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初學者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

龍師火帝  
鳥官人皇

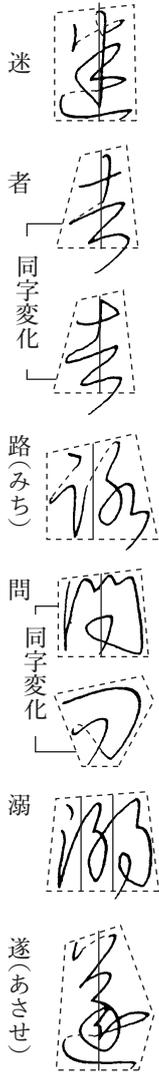
龍師火帝は三皇のうちに数えられた王族である。

鳥官、人皇は中国太古の高貴の官名。

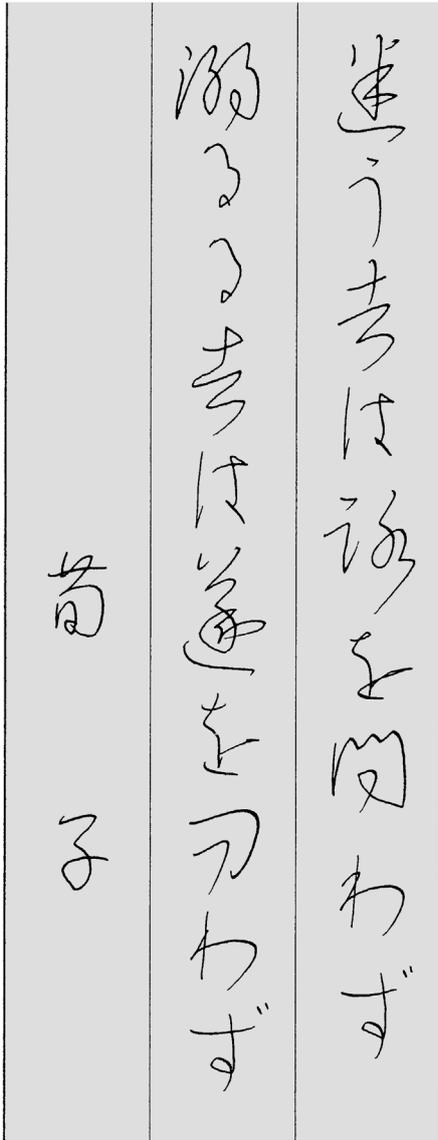
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。  
◎草書は暢達の線ですっきり習う。線の変化(強弱・緩急・太細)を研究しながら練習すると楽しい。



おか だ りゅう ほう 岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★これが…(書体||行書)

シェークスピア(二五四〜二六〇)

イギリスの劇作家・詩人

四大悲劇の「リア王」の中の言葉。

最悪だと言えるのは、まだ少しは余裕があるのでしよう。本当の不幸の渦中にいる人の多くは、言葉を失い沈黙してしまいます。「最悪」は結局、逃げ口上になっていませんか。諦めなければ、打開策が見つかるかもしれません。

◆9月課題予告(楷書)

障子を開けてみよ

外は広いぞ

豊田佐吉

★迷う…(書体||行草または草書)

荀子(前二六?〜前三六以後)

中国、戦国末の儒者

道を迷うのは、賢者に正しい道を探ねないからであり、同様に浅瀬の場所を知ってる人に聞かないから、水に溺れるのです。独断的でわがままな者への戒めの言葉です。わからないこと、知らないことは、素直に人の助言に耳を傾けましょう。

◆9月課題予告(行書)

自ら労して自ら食うは  
人生独立の本源なり

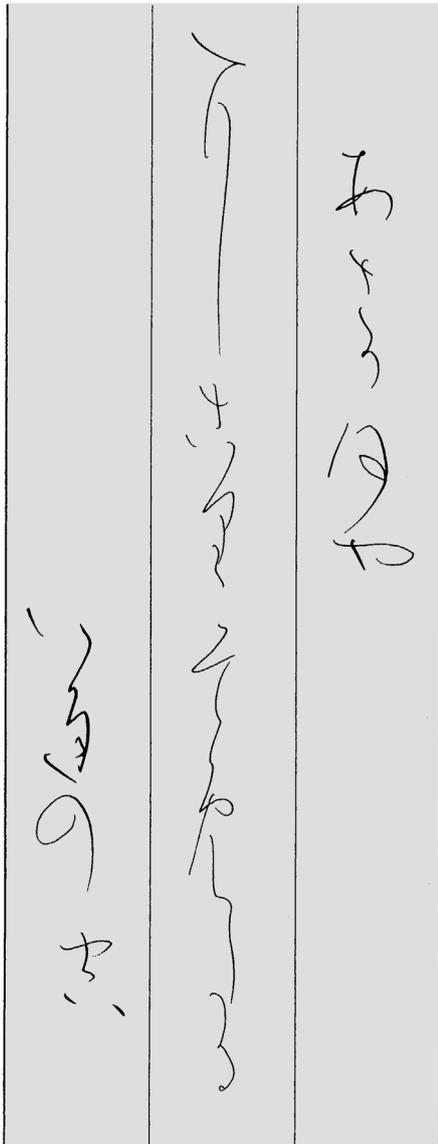
福沢諭吉

▼教範・書範||楷書

▼師範||行草または草書

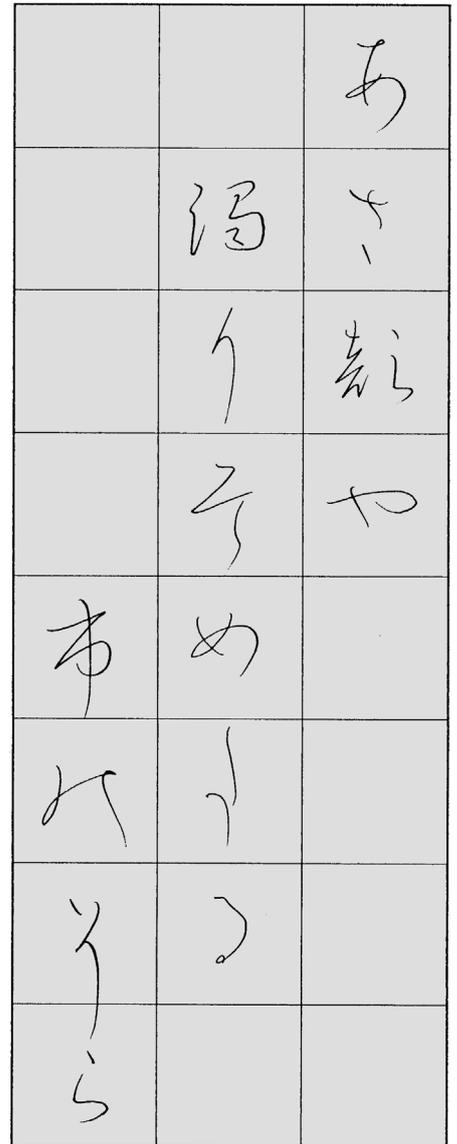
準初段から六段まで

新入から1級まで



朝顔あさなや濁りじこ初めそたる市いちの空そら

朝顔あさなや濁りじこ初めそたる市いちの空そら



■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

大 宮 春 兆 書

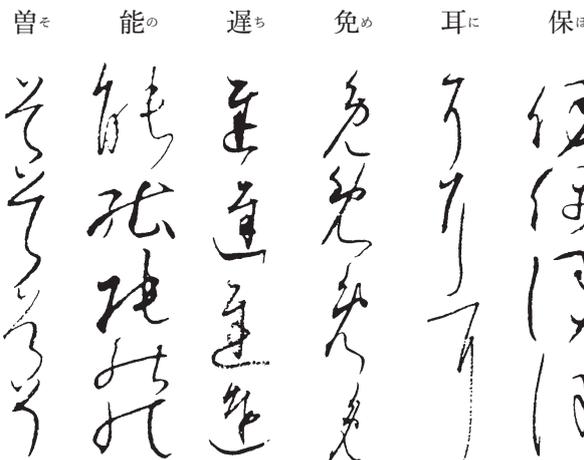
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆9月課題予告

くろがねの秋あきの風鈴ふうりん鳴りにけり

(飯田蛇笏いただごう)



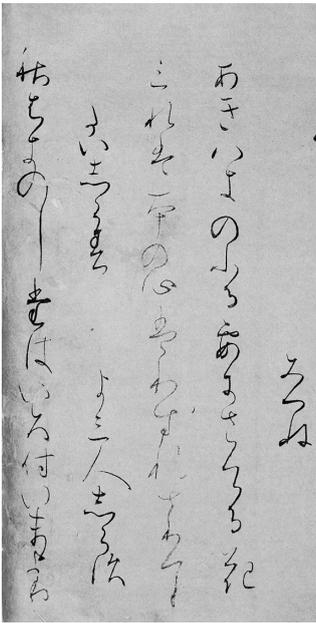
〔古筆参考〕

朝顔あさなや濁りじこ初めそたる市いちの空そら

(杉田久女すぎたひさじよ)

〔古筆参考〕

せきどほんこきんしゅう  
関戸本古今集

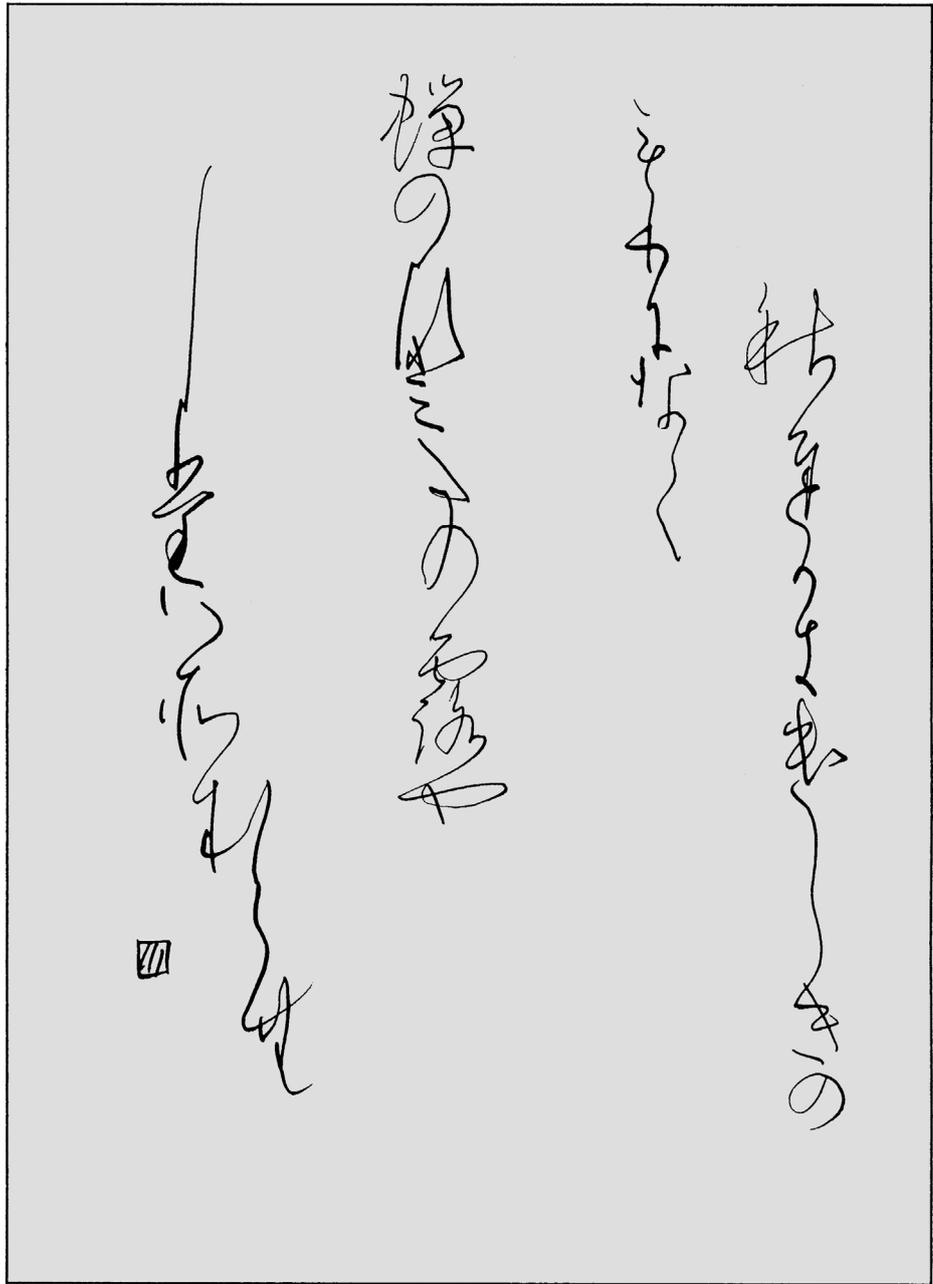


あきはぎのふるえにさける花  
みれば本の心はわすれざりけり  
秋はぎのしたばいろ付いまより

あきはぎのふるえにさける花  
みれば本の心はわすれざりけり  
秋はぎのしたばいろ付いまより

締切り 八月二十四日(必着)

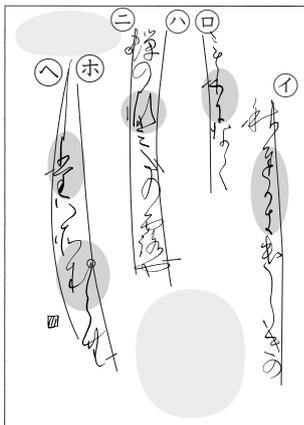
築瀬舟香書



◆9月課題予告  
おしなべてものを思はぬ人にさへ  
心をつくる秋のはつかぜ

強調とは、作品の面を立体的に見える様にするテクニクです。七月号で疎密について述べましたが、密の部分はあくまでも徐々に強調しなければなりません。

- 密の部分。
  - 余白大切(間)。
  - ↙ 指向性。矢印の方向大切。
- 強調



〔解説〕

〔出典〕新古今和歌集  
(新潮日本古典集成)

〔歌意〕しのび寄る秋の気配のけしきの杜に鳴く蝉。その紅涙が露となって、早くも木々の下葉を色づかせるのだからか。

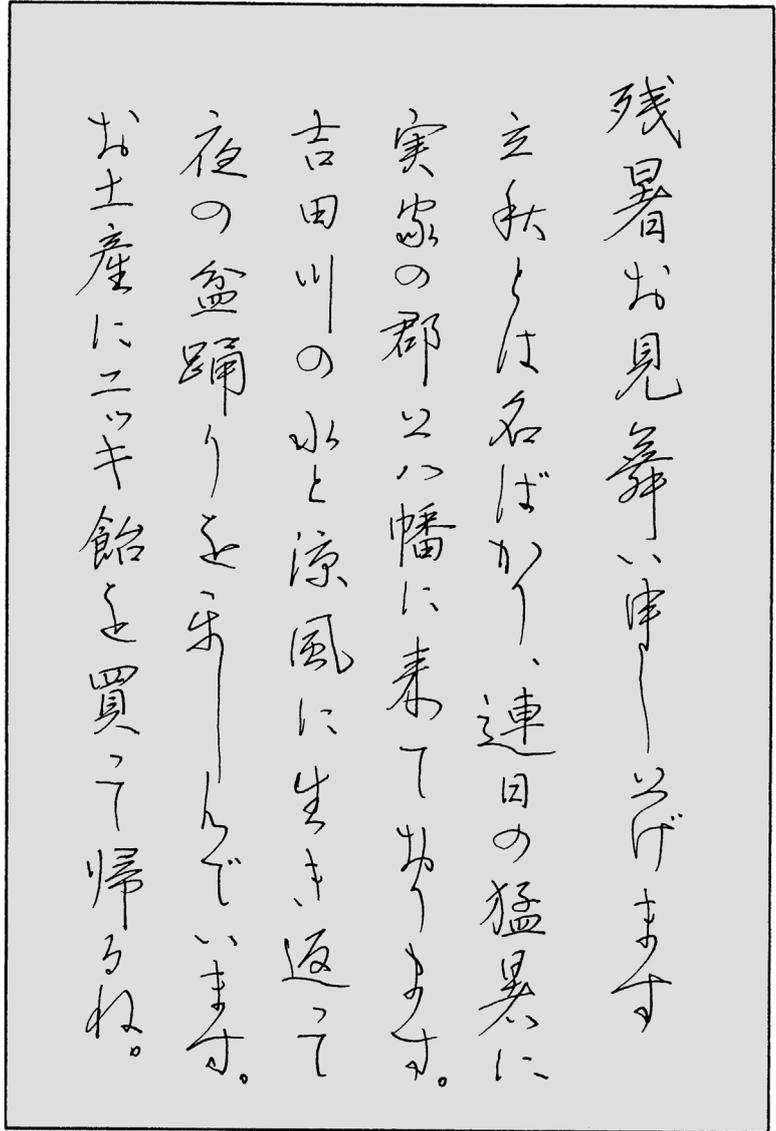
選可支遣 撰政太政大臣  
秋近きけしきの杜に鳴く蝉の  
涙の露や下葉染むらむ

締切り 8月24日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は初めて、残暑見舞い状を自由課題として募集します。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな残暑見舞い状をお待ちしています。

残暑お見舞い申し上げます  
 立秋とは名ばかり、連日の猛暑に実家の郡上八幡に来ております。  
 吉田川の水と涼風に生き返って夜の盆踊りを楽しんでいます。  
 お土産にニッキ飴を買って帰るね。

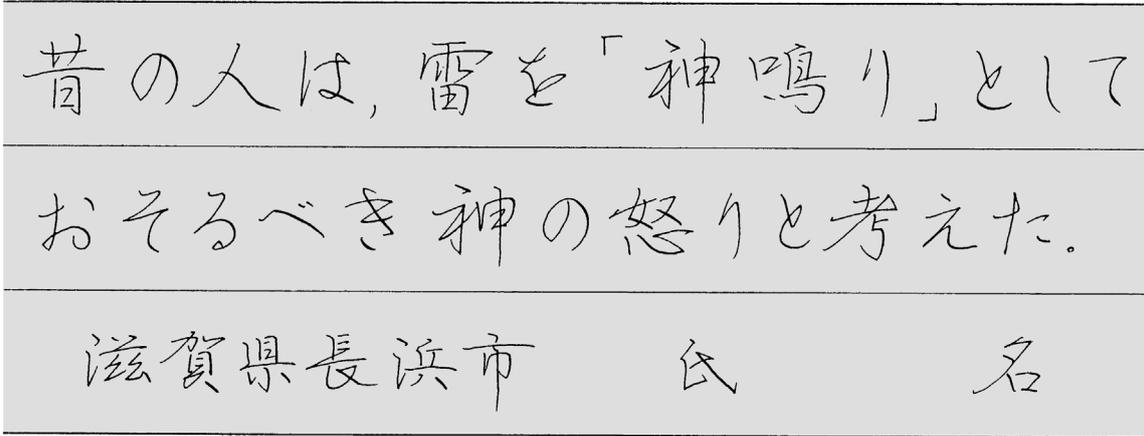


作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

おか じま けい せん  
岡 嶋 桂 川 書



※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月24日 (必着)

慈雲於西極注

慈雲於西極注

準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕集字聖教序(672) 〔筆者〕王羲之法書より集字  
〔読み〕慈雲を西極より(引き)、(法雨を東垂に)注ぐ。

清風入梧竹

新入から1級まで (行書)

荻田蒼仙書

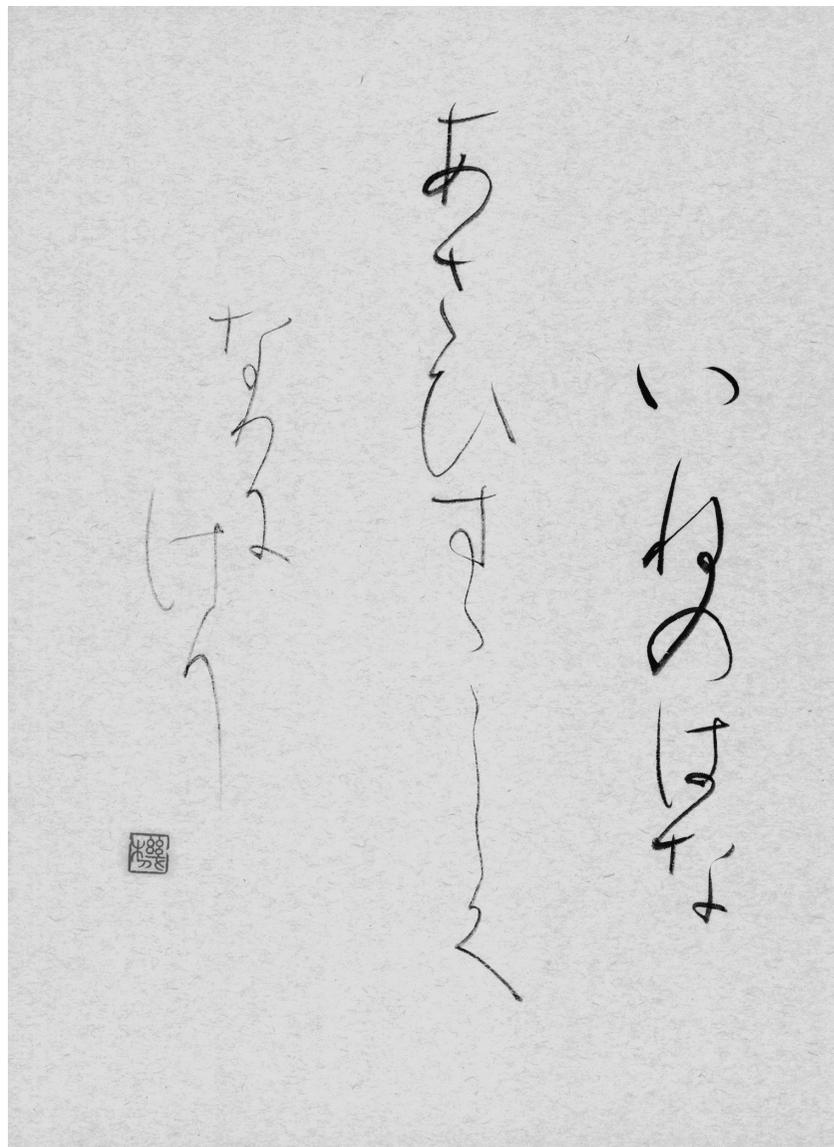
〔読み〕清風入梧竹(せいふうごちくにいる)  
〔大意〕すずしい風が梧や竹にそよぐ。

# 一般部毛筆かな課題

締切り 8月24日 (必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書



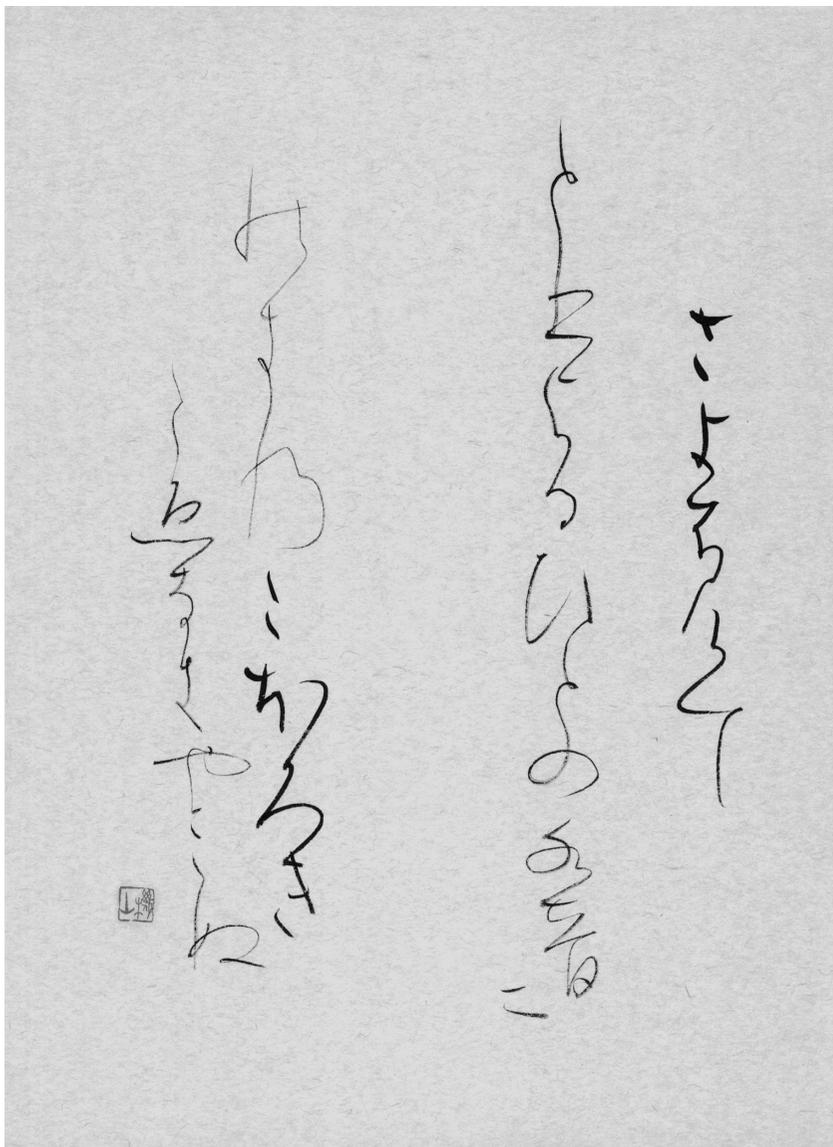
〔出典〕青木月斗

〔句意〕ようやく稲が花をつけた。さわやかな涼しい朝の太陽が田一面に射している。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

稲の花朝日涼しくなりけり



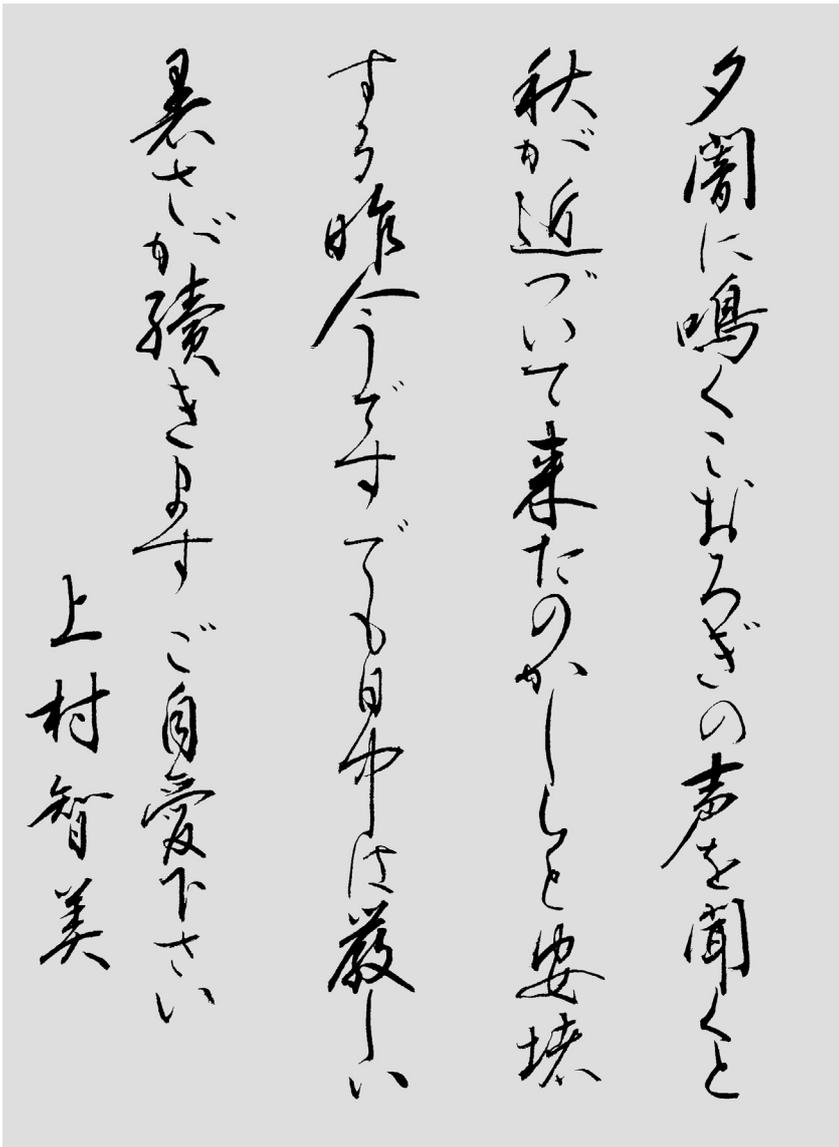
〔出典〕伊藤佐千夫

〔歌意〕夜がふけて、水の中を訪ねてくる人の立てる水音に、軒で鳴いていたこおろぎの音が、ふと鳴きやんだ。

軒のこほろぎ声なきやみぬ

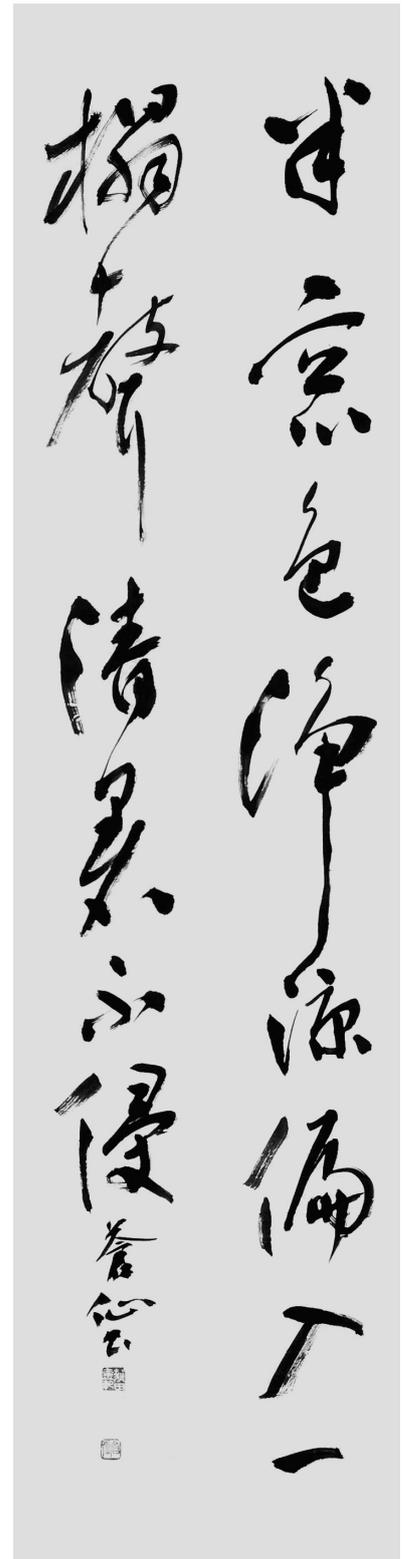
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 八月二十四日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

荻田蒼仙書

〔条幅解説〕画数の増減に便利なので行草体にしました。

縦長く引ける画の字形は全体を明るくし、まとめるのに都合がよろしいのでこの詩を選びました。展覧会等では詩の意味内容より字形・字面を見て選ぶのも一方法です。

・夕闇に鳴くこおろぎの声を聞くと  
・秋が近づいて来たのかしらと安堵  
・する昨今ですでも日中は厳しい  
・暑さが続きますご自愛下さい  
(ご自分の氏名)

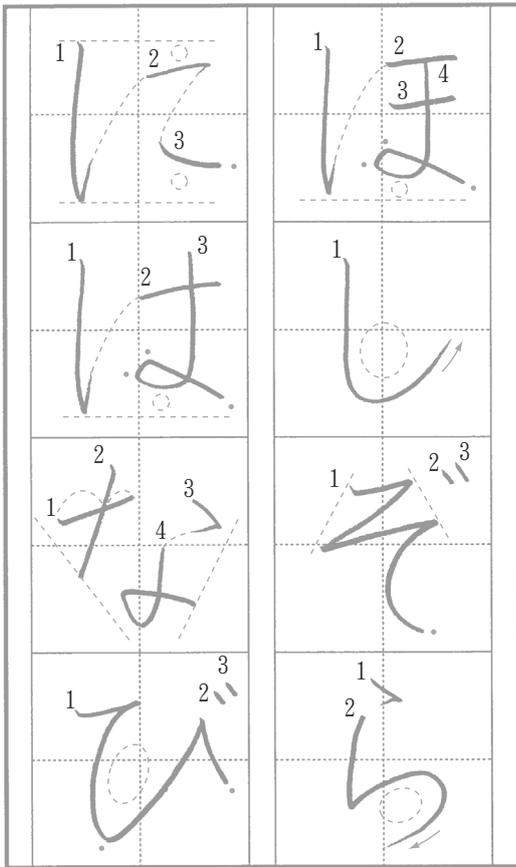
・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

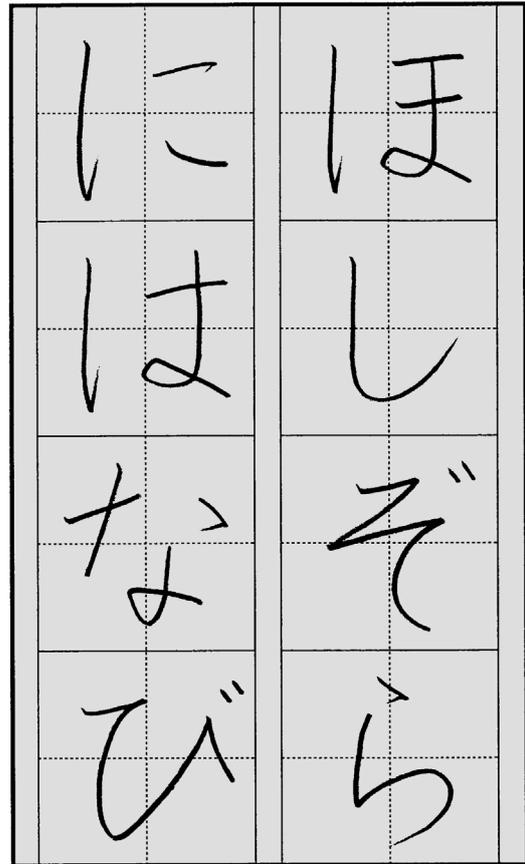
はんそういろまよくしてりようひとえいり  
半窓色浄涼偏入  
いっとうこえきよくしてまおかせず  
一榻聲清暑不侵  
〔大意〕窓の外景色は清らかで涼しい風が入ってくる。外の腰掛けに座ると風の音と共に暑さを払ってゆく。  
初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)



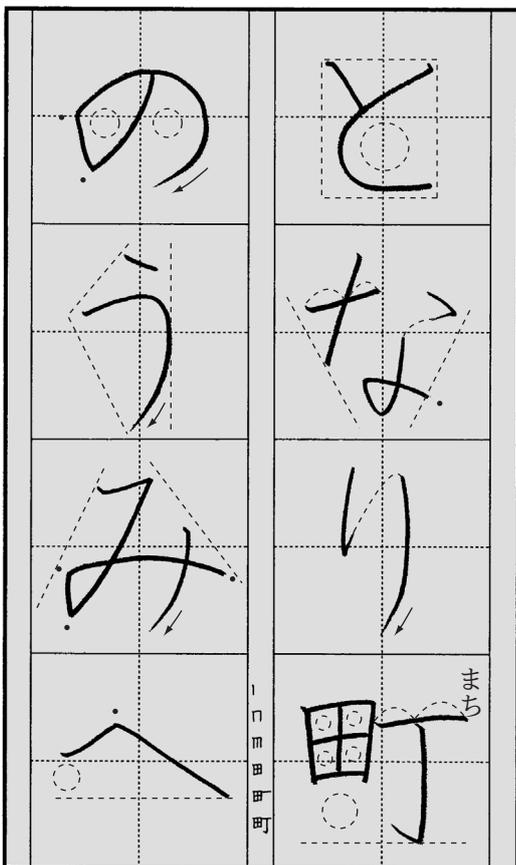
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



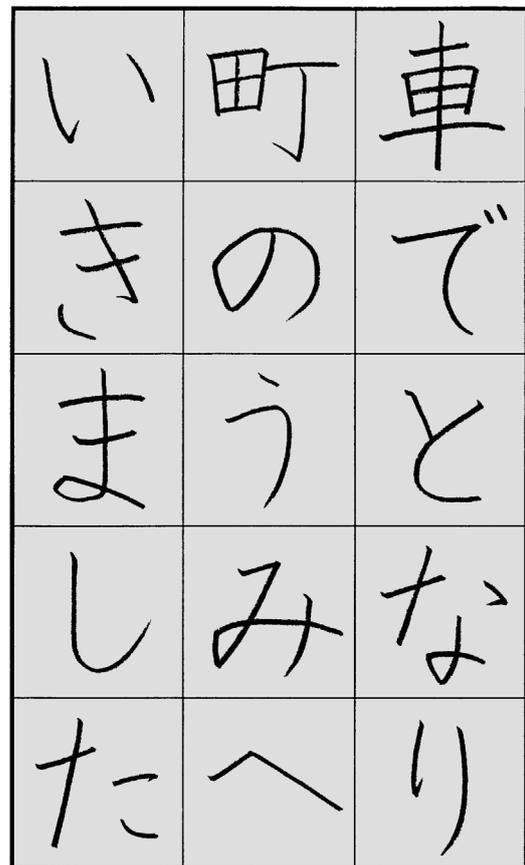
よ  
う  
年

幼年〜小三年  
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)

さ	一ナ大	大 <small>おお</small>
い	ハナホ空空空	空 <small>くう</small>
雲	くも	に
が	リナ小	小 <small>ちい</small>

新入1級

一	小	大
つ	さ	き
う	い	な
か	雲	空
ぶ	が	に

準初段以上

小二年

準初段以上

き	ノナオ有有有	有 <small>ユウ</small>
水	みず	名 <small>メイ</small>
飲	ノクタタ名名	な
む	の	わ

新入1級

く	な	地
ん	わ	元
で	き	の
飲	水	有
む	を	名

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

特	に	弟
訓	平	は
を	泳	夏
し	ぎ	休
た	の	み

準初段以上

ぎ	弟
の	は
特	平
訓	泳

新入1級

〈用鼻〉自由(黒色に限る)

小五年

徳	祖	お
島	母	土
へ	の	産
行	住	持
く	む	ち

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

※土産<sup>みやげ</sup>は単語としてこのように読みます。  
小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

住	産
徳	持
島	祖
行	母

小四以上 須田一葉書

〈自由〉(黒色に限る)

ノイ内血	血	ケツ	同	おなじ
シハ沙液	液	エキ	射	い
ニ刑型	型	がた	手	て
一ナ方友	友	とも	座	ザ

解説(よく見て習いましょう)

つ	血	同
し	液	じ
よ	型	射
の	も	手
友	い	座

小六年

(全員)

◎お手本は、つけペンで書きました。

紹	大	第
介	切	一
し	に	印
ま	自	象
す	己	を

中二・三年 (行書)

※老若男女

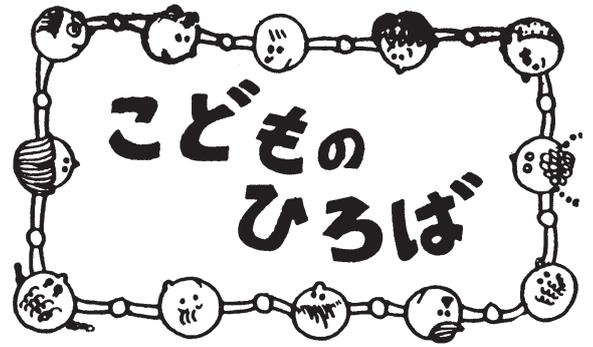
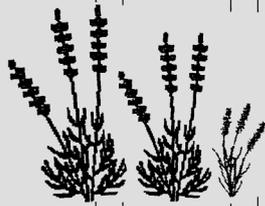
る	愛	老
新	さ	若
人	れ	男
俳	て	女
優	い	に

中一年 (行書)

▼小三年以下の課題 あん 安 どう 藤 しゅん 春 すい 翠 書

見 <sup>み</sup>	ラ	北 <sup>ほっ</sup>	旅 <sup>りょ</sup>	夏 <sup>なつ</sup>
る	ベ	海 <sup>かい</sup>	行 <sup>こう</sup>	休 <sup>やす</sup>
こ	ン	道 <sup>どう</sup>	計 <sup>けい</sup>	み
と	ダ	で	画 <sup>かく</sup>	の
で	ー		は	
す	畑 <sup>はたけ</sup>			
	を			

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 8月24日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 さわ 澤 だ 田 てん 天 ゆう 由 書

美 <sup>うつく</sup>	呼 <sup>よ</sup>	溪 <sup>けい</sup>	鮮 <sup>あざ</sup>	羽 <sup>う</sup>
し	ば	流 <sup>りゅう</sup>	や	毛 <sup>もつ</sup>
い	れ	の	か	が
カ	て	宝 <sup>ほう</sup>	な	青 <sup>あお</sup>
ワ	い	石 <sup>せき</sup>	鳥 <sup>とり</sup>	や
セ	る	と	で	緑 <sup>みどり</sup>
ミ				の

◎お手本はつけペン使用

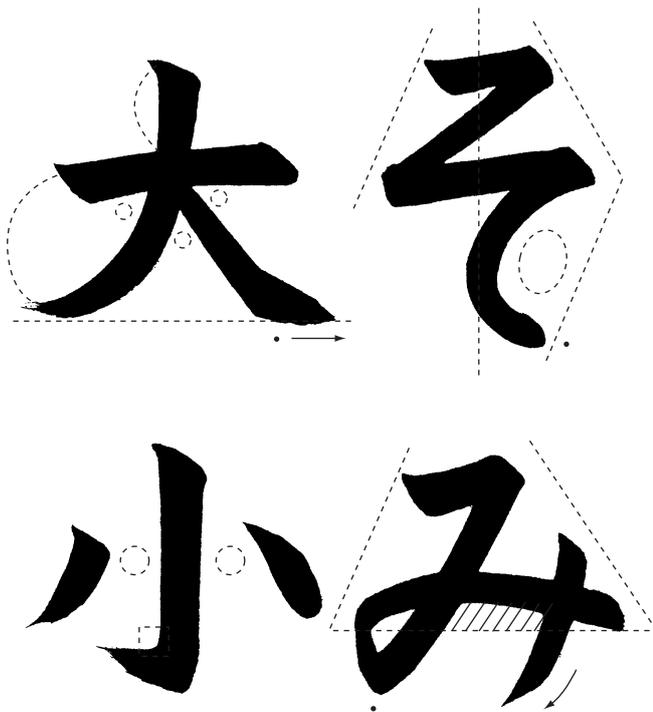


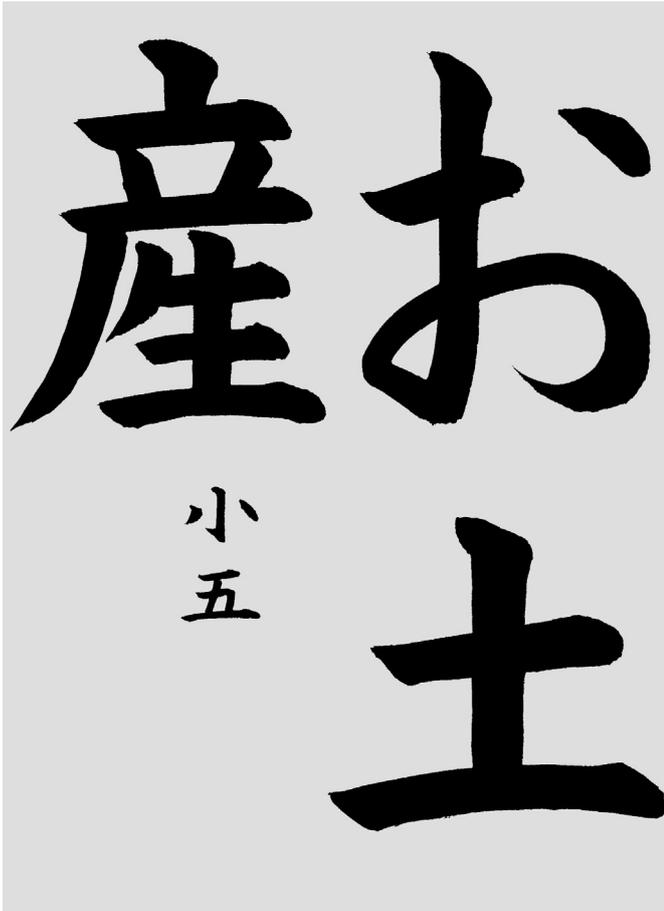
- ◇作品の出し方
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
  - 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
  - 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
  - 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
  - 一、成績は評価により毎月変わります。
  - 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年〜小二年  
玉樹小華書





※土産||みやげ

小三||小五年

水野の香竹書

中二三  
 自我介绍

小六、中二・三年

奥村暢之書

血型液  
 小六

若液  
 紹介  
 介老

※老若男女

中  
 男老  
 女若